

『幼稚園の現場から』

17・保護者参観日について

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

原町幼稚園では、6月から「自由参観」という形式の保護者参観が始まります。

幼稚園ってどんなところで、子どもたちは日々何をしているのか？幼稚園にお子さんを入園させた保護者の方でさえ、よく知らないこともありますよね。小学校や中学校はわりかし自分の記憶も残っていたりしてイメージがわくけど、幼稚園って…とくに父親は知らない方が多いのでは無いかと思います。

現在の自由参観を導入してはや十数年、以前の参観日というと、特別な日として先生も構えちゃって、年少児は借りてきた猫みたいになっちゃうことはなく、（借りてきた猫になれるのは年中以上ですかね…）まだ1学期が始まって3ヶ月ぐらいの6月頃では、子どもたちはいろんな状態になります。

ハイになっておふざけが出たり、甘えてしまっていつも出来ることが出来なくなったり、親にべったりくっついて動けなくなったりする子どもも少なくありません。先生もいつもと違った雰囲気を出したりして、普段の様子とはちがう様相を見せていました。おまけに久しぶりに幼稚園で顔を合わせたお母さん達のお喋りが止まらずに困ったこともありました。

そんな問題を解決しようと形式を変えたのが「自由参観」です。近隣の小学校でもこの形式を取り入れ始めましたが、日程はそれほど多くありません。なにはともあれ、実施要項をご紹介しますので、参観日に変化を考えていらっしゃる方はよかったら参考にして下さい。

■自由参観実施要項

◇参加型参観「自由参観」の主旨

自由参観では、クラスの様子を腕を組んで「じ〜…っ」と観察者として見るのではなく、クラスの子どもたちと話をしたり、一緒にあそんだり、時には保育のお手伝いをし、頂きながら、子どもたちと関わり活動に参加し、我が子はもちろん、共に育つ友だちの様子も、いっしょに見て感じて頂くというのが自由参観の主旨です。

参観を通して、幼稚園という集団の中で子どもたちが園生活を楽しんでいる様子、がんばっている様子、そしていままで気づけなかった一面に気づいたりしていただければとても有意義な時間になると思います。

参観にいらした保護者をクラスの中に受け入れ、必要な場面では一緒に保育を進めてもらうようなイメージで関わっていきましょう。

◇実施期間：年中長=6月～1月まで、年少=6月第3週～2月まで

但し、父親の参観依頼があった場合は極力受ける。

父親は、急にお休みが取れたり、時間給が取れたり、夜勤明けなどで急ぎよ時間が取れる場合がありますので、なるべく参観して頂けるように対応します。

2月～3月は年中長は行事活動が詰まって参観日がなかなか取れないので外してあります。逆に年少は落ち着かない1学期の参観スタートを遅らせて、2月まで期間を延ばしています。

◇参観の申込受付と当日の段取り

1・毎月の「おしらせカレンダー」にて参観可能日を事前にお知らせする。

行事や活動に支障のある日を除いて予め園から参観できる日を指定します。
毎日は実施しませんので、およそ月に10～12日になります。

2・当日の2日前までに受け付ける。

参観はご家族ならどなた（父母、祖父母、叔父叔母・・・）でも可能
人数は 年中長4人、年少3人をMAXとする。
（活動によっては増減可/担任が判断します）

3・参観時間帯を活動の区切りで選んでもらう

- ①お弁当前まで（11：30～12：00頃）
- ②お弁当後まで（1：00頃）
- ③降園まで

②と③はお弁当持参、もしくは給食を注文することも出来ます。

当日↓-----

4・保護者来園時に参観バッジと感想用紙を渡し、朝の自由時間に子どもたちと遊んでもらいます。

子どもたちと参観保護者がめいっぱいふれあえるととても大事な時間です。
若いお父さん方はこの時間にたくさん遊んでくれるので、クラスの子もたちの人気者になります！
自分のお父さんが人気者になると、子どもも嬉しくなります。
給食の集金も済ませる（必ずしも担任で無い）

5・クラスの朝のホームルームで参観者を子どもたちに紹介します

7・終了したら子どもたちと挨拶をして帰宅いただく。翌日以降に感想を提出してもらおう。

◇補足 参観回数/参観回数は一人最高月2回までとしました。

↓
_申込が多い日は参観回数の少ない方から優先になります。

◇参観時の注意

- ①朝の自由時間は子どもたちと積極的に関わっていただく。
- ②逆に一斉（課題）活動中は見る側に回って頂き、不用意に手助けや口出しをしないようお願いする。
- ③大人同士のおしゃべりは、保育の支障になるので、しないように躊躇せず制止や事前に注意を促しておく。
- ④自由参観での写真やビデオ禁止、メールも遠慮していただく。

⑤年少児は個人差が大きいので、子どもによっては普段の生活が見られなくなる場合が予想される。そんな場合は理由を丁寧に伝え、参観時期を調整したり、見つからないように参観するなど配慮をする。

⑥小さいお子さんをお連れの方でも、参観中の飲食は控えていただく。
どうしてもミルクやおやつが必要なとき、寝てしまったときは、空いている部屋など園児の目に付かないようなところを案内する。

◇保育ボランティア

活動によって大人の手が必要なときは、参観とは別に保育ボランティアを頼みます。
「お父さん先生、お母さん先生」となって活動をお手伝い頂き、子どもたちの活動をサポートしていただくのです。

◎保育ボランティアをお願いする活動

調理活動のお手伝いをして頂くボランティア

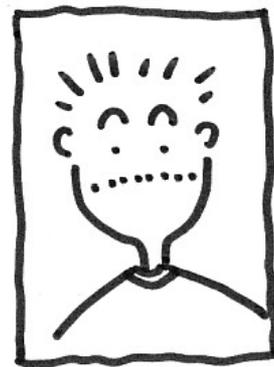
園外保育に同行して頂くおてつだい

行事活動に参加して頂くボランティア

保育ボランティアの募集はメール連絡でその都度行います。

園外保育に同行していくボランティアのみ、自分のクラスではなく、同学年でも他のクラスの引率をお願いします。※但し父親ボランティアはこの限りではありません。

参観された保護者から寄せ
て頂く参観の感想を読むと、我が子
だけでなく、クラスの仲間の中での我が子の立
ち位置や、同年代の子どもの育ちをとらえた感想
がよくあります。我が子が日々どんな園生活を送っ
ているか、ありのままの姿を見て頂けるので良いことも多
い自由参観です。
反面、経験の浅い教員や自信の無い教員、指導に問題が
ある教員にとっては緊張もするし、批判が来る場合も
あります。緊張を乗り越えたり、批判を吟味し思い
当たるところは真摯に受け止めて改善していく
ときに保育が向上し、保護者との信頼関
係も構築されていくのだと考え
ています。



ツルヤシュイチ

(幼稚園勤務32年/うち園長11年)

<http://www.haramachi-ki.jp>

mail : osakana@haramachi-ki.jp